

音楽の都ウィーンならではの名所の数々をお訪ねください。ウィーン・ミュージアムが皆様を、大作曲家の記念館へご案内申し上げます。これらの記念館は、かつて大作曲家が住まいとしたもので、ほぼオリジナルの状態に保存されています。ポर्टレート、楽譜、作曲家の愛用品などが展示され、その日常生活と作品について詳しく紹介されています。更に、各作曲家の生み出した名曲の一部を聞くこともできます。もちろん、最も大切なのは、場所と空間そのものです。そこには、ラテン語で「ゲニウス・ロキ」と呼ばれる独特の雰囲気が広がり、作曲家の面影が今も生き続けているからです。

ヴォルフガング=アマデウス・モーツァルト、制作者不詳、羊皮紙にカット、1803年
 トーマス・ハーディ、ヨーゼフ・ハイドン、1809年頃、グラビア写真



**WIEN MUSEUM
HAYDNHAUS**

プラームス記念室併設
 1060 Wien, Haydngasse 19
 火曜から日曜および祝祭日、
 10:00~13:00および14:00~18:00
 特別ガイドツアーも可能です!

ヨーゼフ・ハイドンは晩年の12年間を、「極めて郊外の」ウインドミュレにある自宅で過ごしました。ここで彼は「天地創造」「四季」など晩年の大作を生み出し、ナポレオン軍によるウィーン占領の最中、1809年5月31日に世を去りました。



Joseph Haydn.

「恐がることはないよ。ハイドンの居るところには何も起こらないから。」

外から聞こえる大砲の音に驚いた家人に対するヨーゼフ・ハイドンの言葉、1809年

当時としては、かなり高齢の77才でした。ここには、当時最も著名な作曲家を表敬訪問するため、国内はもとより諸外国から、作曲家の同僚、楽譜出版社のエージェントなど数多くの人々が訪れています。常設展は天才作曲家の個人的生活環境と、当時の政治的・社会的状況を結び合わせたものです。また、1800年頃の市民の庭園をモデルに、ハイドン存命当時の庭園も再現されていました。

自作の旋律をあしらったハイドン最後の名刺、1803年、リトグラフ

**WIEN MUSEUM
SCHUBERT
GEBURTSHAUS**

mit Stifter-Gedenkkrämen
 1090 Wien, Nußdorfer Straße 54
 火曜から日曜および祝祭日、
 10:00~13:00および14:00~18:00
 特別ガイドツアーも可能です!

この家では、1797年1月31日、フランツ・シューベルトが生まれました。子供たちの多い大家族が住んでいたのは、たった一部屋で、それに「ラウフクツフル」と呼ばれる煙拔きの無い台所があるだけでした。今日では上の階の大半が、作曲家の生涯と作品を紹介する記念館となっています。ここには、シューベルトの音楽家としての発展過程、交友関係、人生の重要な時期などが、印象的に展示されています。展示品の中で、とりわけ訪れる人々に深い印象を与えるもの、それがシューベルト愛用の眼鏡です。

「私は、ただひたすら作曲するために生まれてきたのだ。」

フランツ・シューベルト



アッツェンブルツツにおけるシューベルトティアーデに集まった人々のゲーム、レオポルト・クーパーヴィーザー制作、水彩画によるコロタイプ、1821年

**WIEN MUSEUM
SCHUBERT
STERBEWOHNUNG**

1040 Wien, Kettenbrückeng. 6
 水曜と木曜、10:00~13:00および
 14:00~18:00

ナツシュマルフトの近くにあるシューベルト最期の家はピーダーマイヤー様式の建物の中にあり、ウィーン・ミュージアムに属する作曲家記念館の中で、最も詩情溢れるものです。2つの部屋とキャビネットからなる住居は兄フェルディナントのもので、シューベルトは晩年の数カ月を過ごし、1828年11月19日に、ここで世を去りました。ここでもシューベルトは、幾つかの作品を作曲しています。

MOZART, BEETHOVEN, STRAUSS, SCHUBERT, BRAHMS & HAYDN

ハイドンハウスのコンサートホール-ここでは催し物やコンサートが開催されます。



フランツ・シューベルト、ウィルヘルム=アウグスト・リーダー制作、水彩画によるコロタイプ、1825年



フランツ・シューベルトの眼鏡、1820年頃 シューベルト家所蔵のピアノ



**WIEN MUSEUM
HAYDNHAUS / BEETHOVEN EROICHAUS /
BEETHOVEN PASQUALATIHAUS / BEETHOVEN
WOHNUNG HEILIGENSTADT / MOZARTWOHNUNG
IM MOZARTHAUS VIENNA / SCHUBERT
GEBURTSHAUS / SCHUBERT STERBEWOHNUNG /
JOHANN STRAUSS WOHNUNG**

チケット	
大人:	5ユーロ
割引料金:	4ユーロ
19才以下の青少年:	入場無料
毎月第一日曜(全ての見学者):	入場無料

モーツァルトの住居-モーツァルト・ハウス・ウィーン	
大人:	11ユーロ
割引料金:	9ユーロ

閉館日*
 1月1日、5月1日、12月25日、祝祭日
 日が月曜日に当たる場合

お問い合わせと見学者サービス
 電話: Tel.: [+43-1] 505 87 47-85173, service@wienmuseum.at

ガイド・ツアーの予約
 電話: Tel.: [+43-1] 505 87 47-85180, 平日、午前9時から午後2時まで
 service@wienmuseum.at

コンサート・ホールの賃貸
 電話: Tel.: [+43-1] 505 87 47-84033, service@wienmuseum.at

デザイン
 buerobauer.com

予約なしに変更されることがありますので、ご了承ください。

「親愛なるリース様、もつと良い住居をご存知でしたら、大変幸いです・・・私が望んでいるのは、静かな広場に面した住居か、バスタイの上にある住居です。」

ルードヴィヒ・ファン・ベートーヴェンから友人フェルディナント・リースに宛てた手紙、1804年

WIEN MUSEUM JOHANN STRAUSS WOHNUNG

1020 Wien, Praterstraße 54
火曜～日曜および祝祭日
10時～13時および14時～18時
特別ガイドツアーも可能です!

1867年、ここで作曲されたのが世界的に知られる名曲「美しき青きドナウ」で、今ではオーストリアの「非公式国歌」と呼ばれています。当時のブラッターシュトラッセは、ウィーン郊外のエレガントな通りで、シュトラウスは、7年間ここで暮らしました。展示されている楽器、家具、絵画などが、作曲家、演奏家、指揮者としてのシュトラウスとともに、彼のプライベートな日常生活をも紹介しています。



「美しき青きドナウ」楽譜、作品番号314、1867年

WIEN MUSEUM BEETHOVEN WOHNUNG HEILIGENSTADT

1190 Wien, Probusgasse 6
火曜から日曜および祝祭日、
10:00～13:00および14:00～18:00
特別ガイドツアーも可能です!

ウィーン北郊外のハイリゲンシュタットにある家は、ルードヴィヒ・ファン・ベートーヴェンの人生における大きな転換点を記念するものです。1802年この家でベートーヴェンは、名高い「ハイリゲンシュタットの遺書」を書いたのです。これは、進行する難聴の症状に絶望した作曲家が2人の弟に宛てた手紙ですが、結局、発送されることはありませんでした。展示品の数々は、この出来事を中心に、1802年に作曲された作品、当時の保養地ハイリゲンシュタットの様子などを紹介しています。

WIEN MUSEUM BEETHOVEN EROICHAUS

1190 Wien, Döblinger Hauptstr. 92
予約による特別開館のお申し込みは: 電話: +43-1-505 87 47-85173
service@wienmuseum.at

夏の数カ月、ベートーヴェンは繰り返しウィーン北西のワイン生産地帯で過ごしました。1803年には名高い交響曲第3番「エロイカ(英雄)」を頂点とする作品が生み出されました。この時期ベートーヴェンは、牧歌的なオーバーデプリングで夏を過ごしたということです。エロイカハウスでは、数多くの展示品によって、当時まだ農村風の佇まいだったウィーン郊外の様子と、同年に作曲された作品が紹介されています。

WIEN MUSEUM BEETHOVEN PASQUALATIHAUS

1010 Wien, Mölker Bastei 8
火曜から日曜および祝祭日、
10:00～13:00および14:00～18:00
特別ガイドツアーも可能です!

メルカーバスタイは古い城壁の残り、ここにある建物は、所有者だったヨーゼフ・ベネディクト・フォン・パスクヴァラティ男爵に因んで「パスクヴァラティハウス」と呼ばれています。ルードヴィヒ・ファン・ベートーヴェンは35年間ウィーンに暮らしましたが、そのうち8年間は、この建物の最上階に住んでいました。ここでは、交響曲第4番、第5番、第7番、第8番など多くの作品が生み出され、更にオペラ「フィデリオ」が作曲されています。ここにはベートーヴェンの作曲活動に関する様々な展示品に加え、ウィリブロルト＝ヨーゼフ・メラーが制作した名高い肖像画や、作曲家愛用の品々が展示されています。



フルート時計、1796年: 1796年頃制作されたフルート時計は、モーツァルトの「小さなオルガンのためのアンダンテ」(KV616)のバリエーションを演奏します。この旋律は、モーツァルトがフルート時計のため作曲したメロディーの中で唯一、歴史的なフルート時計に保存されているものです。

「私の願いと希望は・・・
名誉と名声と金を得ることだ・・・」

ヴォルフガング＝アマデウス・モーツァルト

ゲーム室? モーツァルトは熱烈なゲーム愛好家でした。モーツァルトの住居中最大の部屋はドームガツセに面し、ゲーム室になっていたものと見られます。ここにはビリヤード台のほか、カード遊びやチェスのためのテーブルが置かれていたことでしょう。

日本語

WIEN MUSEUM MUSIKER- WOHNUNGEN



音楽家・作曲家の足跡を訪ねて

ヨハン・シュトラウス、ユリウス・ゲルティンガー撮影、1884年

ヨハン・シュトラウスの居間と仕事部屋



ハイリゲンシュタットのベートーヴェンハウス、中庭側の眺め



© Mozarthaus Vienna / David M. Peters